

平成29年4月開校予定
青垣小学校の校章・校歌の歌詞が決定



佐治小学校の敷地内に建設予定の新校舎イメージ図

芦田・佐治・神楽・遠阪の4小学校が統合し、平成29年4月に新しく開校する予定の「青垣小学校」の校章と校歌の歌詞が決まりました。

昨年8月から校章デザインと校歌の歌詞を募集し、校章デザインには55点の応募のなかから、小池友基さん（群馬県）の作品が選ばれました。Aogakiの頭文字である「A」をモチーフに、自然に囲まれた青垣小学校でたくましく成長する児童をイメージしたデザインです。

青垣小学校 校章

新しく決まった青垣小学校の校章。エメラルド系の緑が配色されています



また、校歌の歌詞には48点の応募のなかから、佐々木俊典さん（岩手県）の作品が選ばれました。児童が元気に伸び伸びと育っていくようすを表現したわかりやすい歌詞に仕上げられています。

青垣小学校 校歌の歌詞 ※2、3番の歌詞は掲載略

1. 光る丹波の 風うけて
高い希望（のぞみ）の 夢そよく
たがいに手と手を とりあって
学ぶ喜び 生き生きと
ともに伸びゆく 青垣小学校

- ふなきの里元旦マラソン -
マラソンは1年の健康の第一歩

新年を迎えた1月1日、船城小学校（春日地域）周辺をコースに、「ふなきの里元旦マラソン」（主催：船城地区自治協議会）が行われ、子どもからお年寄りまで100人が走り初めを楽しみました。このマラソンは、1年を健康に過ごせるよう毎年開催され、今年で37回目。1キロ、2キロ、ジョギングの3コースに挑んだ参加者たちは、寒さにも負けず元気よく新春のまちを駆け抜けました。



寒さをもとめせず新春のまちを駆け抜ける参加者たち

- 市内企業見学会 -
高校生の地元就職を促進

12月10日と17日の2日間、就職を希望する氷上高校、氷上西高校、柏原高校、篠山産業高校の生徒約80人が市内の企業（ダンロップスポーツ㈱、丹波ひかみ農業協同組合、㈱大地農園、㈱ハイレックスコーポレーション）を見学しました。この見学会は、高校生たちが市内企業への理解を深めることで、市内での就職を促進しようと企業の協力を得て開催されました。参加した生徒たちは、熱心に企業の担当者の説明に耳を傾け、真剣な表情で見学しました。



㈱大地農園の担当者から企業説明を受ける高校生たち



- 安寧の願いを込めて -
柏原八幡宮で伝統の餅神事

1月3日、柏原八幡宮（柏原町柏原）で、一年の厄除け・家内安全を願い、つきあげた餅を御神前に奉納後、参拝者に振る舞う伝統の「餅神事」（主催：丹波もちつき唄保存会）が行われました。

1486年まで行われていた神事を500年ぶりに復活させ、今年で30回目を迎えたこの行事も今回が最後の開催となります。

訪れた人々は、新しい年を平穏無事に過ごせるようお願いを込めてつきたての餅をほおばりました。



①餅をつく丹波もちつき唄保存会のみなさん②当時から再現した餅つき踊り③柏原八幡宮の鳥居



「丹波市石生駅西土地画整理組合」の解散にあたってあいさつをする梅澤忠司精算人代表

生郷に活気あふれる住宅地が誕生

JR石生駅西側の約10.1ヘクタールの区域において、平成15年度から丹波市石生駅西土地画整理組合が施工主体となり、道路や公園などの公共施設の整備・改善と宅地の利用増進を一体的に進め、住みよい市街地の形成を図る土地画整理事業を推進してきました。

今年度までの11年間の事業の成果として、住宅、道路、公園、集会施設が整備され、新しいまちが誕生しました。

事業の完了に伴い、丹波市石生駅西土地整理組合は解散することとなり、解散記念式典が12月20日、生郷交流会館（氷上町石生）で行われました。

- 丹波市クリーンセンター火入式 -
炉内に灯った新たな希望の火

4月1日稼働予定の丹波市クリーンセンター（春日町野上野）の火入式が昨年12月25日に行われ、辻市長が点火スイッチを押すと同時に、焼却炉内に火が灯りました。今後、本格稼働に向けて試験焼却が行われます。

辻市長は、「4月の稼働開始に向けて、いよいよ最終段階に入りました。地域や市民のみなさんに愛され親しまれる施設づくりをめざします」と力強く話しました。



点火スイッチを押す辻市長。モニターには炉内に灯った火が映し出されました